

浮魚情報（第6報）

令和元年8月5日

宮城県水産技術総合センター環境資源チーム

Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

1. 令和元年度 サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）

令和元年7月31日付けで、「令和元年度サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）」が水産庁から発表されました。本予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構東北水産研究所が取りまとめを行い、北海道～千葉県までの各水産試験研究機関等とともに内容を検討し、サンマの長期漁海況予測を行ったものです。予報内容は以下のとおりです。

今後の見通し（漁況：令和元年8～12月，海況：令和元年8～9月）のポイント

漁況：・漁期を通じた来遊量は、昨年を下回る。

- ・9月中旬までの来遊量は極めて低調に推移するが、9月下旬以降に増加する。
- ・大型船出漁直後（8月下旬）の漁場は、択捉島以北の海域に分散して形成される。近年の傾向から、魚群は親潮第2分枝に沿って南下すると考えられる。このため、その後の漁場は沖合を中心に形成され、道東沿岸の親潮第1分枝沿いでは漁場がほとんど形成されない。
- ・三陸海域への魚群の南下時期は例年より遅れ、漁場形成は10月下旬となる。

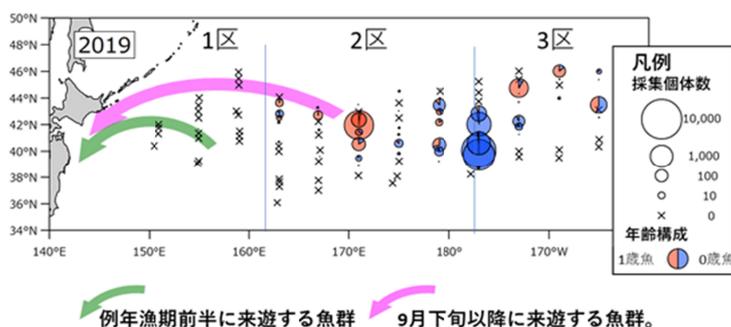
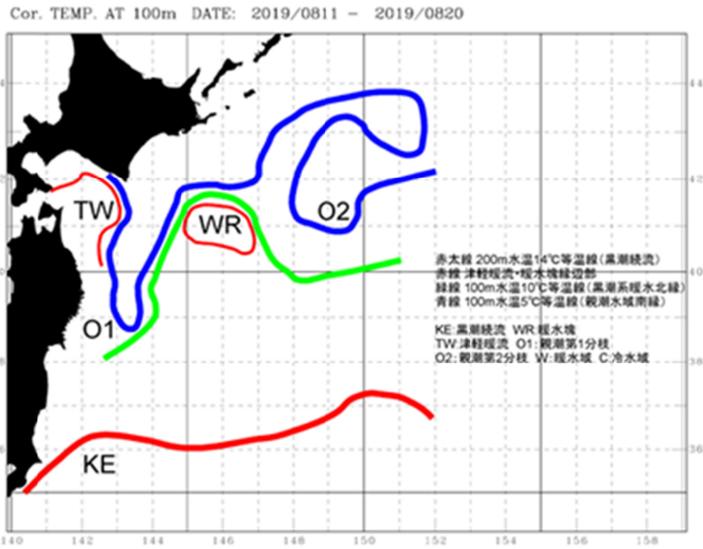


図1 令和元年6～7月に行った表層トロール漁獲試験によるサンマ資源量直接推定調査の結果

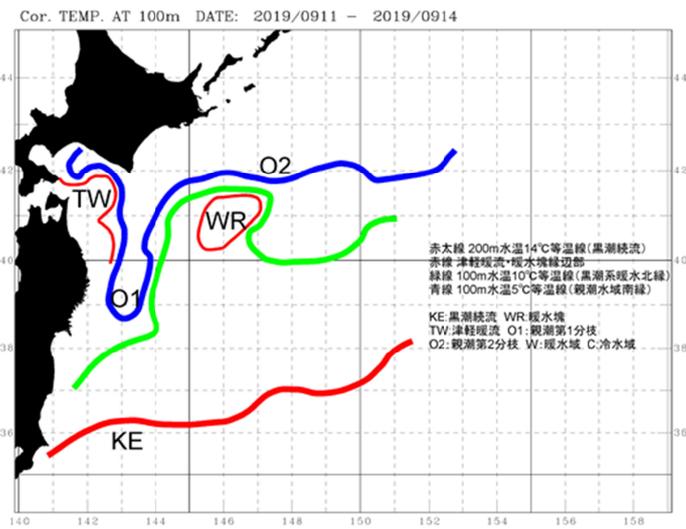
円の面積は漁獲されたサンマの尾数、×は漁獲のなかった調査点を示す。緑の矢印は例年漁期前半に来遊するサンマの分布と経路を、ピンクの矢印は漁期後半に来遊する魚群の想定経路を示す。

海況：・近海の黒潮の北限はやや北偏（北緯 $36^{\circ} 10'$ ～ $36^{\circ} 20'$ ）で推移する。

- ・親潮第1分枝（01）の南限はやや南偏～かなり南偏（北緯 $37^{\circ} 50'$ ～ $39^{\circ} 30'$ ）で推移する。
- ・親潮第2分枝（02）の南限はかなり北偏～極めて北偏（北緯 $40^{\circ} 30'$ 以北）で推移する。
- ・津軽暖流（TW）の下北半島東方への張り出しは平年並み～やや弱勢（東経 $142^{\circ} 50'$ ～ $143^{\circ} 20'$ ）で推移する。
- ・三陸沖の暖水塊（WR）は停滞する。
- ・近海の黒潮系暖水の北限は極めて北偏（北緯 $40^{\circ} 50'$ 以北）で推移する。



8月中旬予測水温分布



9月中旬予測水温分布

□詳細は、水産庁ホームページ (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/190731.html>)，国立研究開発法人水産研究・教育機構ホームページ(<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2019/20190731/index.html>) に掲載されています。